

No. 1312

華麗なる遺産

— 古代トラキア黄金展 —

ブルガリア文化省、東京新聞など主催の「古代トラキア黄金展」が3月2日、東京池袋のサンシャインシティ、オリエン特博物館で開かれました。一般公開に先立ち行われた開場式には三笠宮両殿下、ブルガリア政府代表のリュドミーラ・ジフコバ文化相をはじめ関係者招待客約500人が出席しました。ブルガリアの駐日大使のメッセージの後、三笠宮妃殿下とジフコバ文化相がテープカット。会場にはバルカンに輝く騎馬民族トラキア人の遺産560点余が展示されました。招待客たちはしばし、古代のロマンあふれる展示品に魅了されていました。

トラキア人は3世紀ごろその姿を消し「伝説の民族」とされてきましたが、近年、ブルガリアで遺宝が続々と発見され、世界の注目を集めました。ギリシャの詩人ホメロスはこのトラキア人を「風よりも速い馬に乗り黄金まばゆい武器を持った軍団」とたたえています。この「古代トラキア黄金展」は日本とブルガリアとの親善と相互理解を更に深めることでしよう。

温泉百景

— 湯田中・澁 —

暖冬異変といわれ雪も少なかった2月・3月に入ってようやく例年並みの雪になった。善先等参りで知られる長野市から特急電車で38分、一望に広がる湯田中・澁温泉街も、すっぽりと雪に包まれた。湯田中温泉にゆかり深い俳人、小林一茶。町の一角には一茶堂が建立され、堂内には一茶像が安置されている。澁温泉の和合橋を渡ると道路際の小高い丘に道祖神がひっそりと立つ。男女二体の和合神で、風雪にたたかれ顔の表情もさだかではないか、どことなくなごやかな道祖神だ。三方を山で囲まれ、谷の行詰りにあり湯治場の情緒を残す、角間温泉。上林温泉か澁温泉から30分、噴泉と入浴する野猿で有名な地獄谷餌づけされた野猿が温泉に入浴する姿はユーモラスで観光客に大うけ。山はまだ雪の壁が続く。が、遅い信州の春も、もうそこまで来ている。